

講義内容

約 5 時間 05 分

| | |
|--|-------|
| 講義 1 : 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) | 10 分 |
| 講義 2 : 規格要求事項の概要 | 12 分 |
| 講義 3 : 箇条 4 組織の状況、箇条 5 リーダーシップ | 10 分 |
| 講義 4 : 箇条 6 計画策定 | 20 分 |
| 講義 5 : 箇条 7 支援、箇条 8 運用、箇条 9 パフォーマンス評価、箇条 10 改善 | 20 分 |
| 講義 6 : 5.組織的管理策 | 11 分 |
| 講義 7 : 6.人的管理策、7.物理的管理策、8.技術的管理策 | 10 分 |
| 講義 8 : 内部監査の基礎 | 22 分 |
| 講義 9 : 内部監査の進め方 | 23 分 |
| テスト : 理解度確認テスト | — |
| 演習 1 : チェックリストの作成技術 | 6 分 |
| 演習 2 : 質問技術 | 8 分 |
| 演習 3 : 監査事例 | 8 分 |
| テスト : 修了テスト | 40 分 |
| レポート : 演習問題 1~3 | 105 分 |

講義 2~5 は「ISO/IEC27001:2022 要求事項テキスト」を、講義 6~7 は「ISO/IEC27001:2022 附属書 A 情報セキュリティ管理策」をご活用ください。

講義 1 : 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 10 分

| |
|---------------------------|
| はじめに |
| 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) |
| 情報セキュリティとは |
| リスクとは |
| 情報セキュリティとリスク |
| リスクアセスメントとは |
| マネジメントシステムとは |
| ISMS とは |

講義 2：規格要求事項の概要

12分

| |
|-----------------------|
| ISO/IEC 27000 ファミリー規格 |
| 規格の特徴 |
| 規格の構造 (詳細構成) |
| 規格の構造のイメージ |
| 規格の引用規格、用語及び定義 |

講義 3：箇条 4 組織の状況、箇条 5 リーダーシップ

10分

| |
|----------------------------|
| 4 組織の状況 |
| 情報セキュリティマネジメントシステムの適用範囲の決定 |
| 5 リーダーシップ① |
| 5 リーダーシップ② |
| 情報セキュリティ方針、情報セキュリティ体制 |

講義 4：箇条 6 計画策定

20分

| |
|--|
| 6 計画策定① 6.1 リスク及び機会に対処する活動 6.1.1 一般 |
| 6 計画策定② 6.1.2 情報セキュリティリスクアセスメント |
| 6 計画策定③ 6.1.3 情報セキュリティリスク対応 |
| 6 計画策定④ 6.2 情報セキュリティ目的及びそれを達成するための計画策定、6.3 変更の計画策定 |

講義 5：箇条 7 支援、箇条 8 運用、箇条 9 パフォーマンス評価、箇条 10 改善

20分

| |
|---|
| 7 支援① 7.1 資源、7.2 力量、7.3 認識、7.4 コミュニケーション |
| 7 支援② 7.5 文書化した情報 7.5.1 一般、7.5.2 作成及び更新、7.5.3 文書化した情報の管理 |
| 8 運用 8.1 運用の計画及び管理、8.2 情報セキュリティリスクアセスメント、 8.3 情報セキュリティリスク対応 |
| 9 パフォーマンス評価① 9.1 監視、測定、分析及び評価 |
| 9 パフォーマンス評価② 9.2 内部監査 9.2.1 一般、9.2.2 内部監査プログラム |
| 9 パフォーマンス評価③ 9.3 マネジメントレビュー 9.3.1 一般、9.3.2 マネジメントレビューへのインプット |
| 10 改善 10.1 継続的改善、10.2 不適合及び是正処置 |

講義 6 : 5.組織的管理策

11分

| |
|---|
| 附属書 A の管理策群～旧版との比較～ |
| 附属書 A に新しく追加された管理策 |
| 附属書 A の管理策～5 組織的管理策～ |
| 附属書 A の管理策～6 人的管理策/7 物理的管理策～ |
| 附属書 A の管理策～8 技術的管理策～ |
| 5 組織的管理策 5.1 情報セキュリティのための方針群～5.6 専門組織との連絡 |
| 5.7 脅威インテリジェンス～5.12 情報の分類 |
| 5.14 情報の転送～5.22 供給者のサービス提供の監視、レビュー及び変更管理 |
| 5.24 情報セキュリティインシデント管理の計画策定及び準備～ |
| 5.31 法令、規制及び契約上の要求事項 |

講義 7 : 6.人的管理策、7.物理的管理策、8.技術的管理策

10分

| |
|---|
| 6 人的管理策 6.2 雇用条件～6.8 情報セキュリティ事象の報告 |
| 7 物理的管理策 7.1 物理的セキュリティ境界～7.4 物理的セキュリティの監視 |
| 7.7 クリアデスク・クリアスクリーン～ |
| 7.14 装置のセキュリティを保った処分又は再利用 |
| 8 技術的管理策 8.2 特権的アクセス権～8.7 マルウェアに対する保護 |
| 8.8 技術的ぜい弱性の管理～8.13 情報のバックアップ |
| 8.15 ログ取得～8.23 ウェブフィルタリング |
| 8.24 暗号の利用～8.31 開発環境、テスト環境及び本番環境の分離 |

講義 8 : 内部監査の基礎

22分

| |
|-----------------------------|
| JIS Q 19011 (ISO19011) について |
| 監査の意味① |
| 監査の意味② |
| 監査の意味③ |
| 監査の意味④ |
| 監査での役割① |
| 監査での役割② |
| 監査の原則 |
| 監査人の知識・技量① |
| 監査人の知識・技量② |
| 監査人の心得 |
| 監査プログラム |

講義 9 : 内部監査の進め方

23 分

| |
|------------------------|
| 監査のステップ |
| 内部監査の準備段階 ①文書レビュー |
| ②計画 |
| 内部監査の実施段階 ①初回会議 |
| ②監査活動 監査の視点 (チェックポイント) |
| 基本的なアプローチ |
| 質問の技法 |
| サンプリング |
| 監査活動中の記録 |
| 内部監査の実施段階 ③チーム打合せ |
| ④最終会議 |
| 内部監査の是正処置段階 |
| 内部監査の報告段階 |